

「言葉にとられる」

関東直撃の台風。。。各自の判断でサービス継続を本当に支えてくださりありがとうございます！！
今後の経験として非常時のマニュアルや地域やみんなの支援体制を法人として確立して行こうと考えてます！！
たくさんの貢献をありがとうございます！！

さて、24歳の会社を設立したときの話。
事務所の備品を揃えるために、近所を徘徊した。
上野のバイク街で、シャッター半開きでいかにも潰れた事務所を発見。
そろりそろりと、中をのぞいたらおじさんが片付けしてた。

そこで、おじさんに声をかけて、このロッカーやホワイトボード、
事務デスク、パーティション等々捨ててしまうなら僕にくださいと。

少し困惑しながら、おじさんは譲ってくれると言ってくれた。

しかしこのかた、掃除のおじさんなのか、経営者なのか定かでない人が言った言葉は、

「潰れた会社の備品を、せっかく新しく立ち上げる会社に置いておくのは、縁起良くないんじゃない？」

と言われた。

その言葉を聞いて初めて、そんな気分になってきた。

が、人力で事務所のビルの前まで運び、1月の寒空の中、会社前にホースを引っ張ってきて、
洗剤とタワシで、タバコで変色したパーティションのヤニ取りと匂いが消えるまで頑張って掃除した。
その時、念を込めるように、悪霊退散と！と念じたことを覚えている。

また、僕の個人の実印は、長年の押印酷使から、丸の上の方の輪郭が、3ミリくらいかけて欠落している。
印鑑証明の確認の際のギリギリオッケーの限界くらい欠けているとおもう。

ある押印の時に、銀行員に言われた。

「年期入ってますね！」

印鑑の陰影みたら、

「あれっ？印鑑欠けてますね？運逃げちゃいますよ～」
って。

またまた、言われてみて初めて考えた。
たしかに、印鑑が割れてるのは、縁起が悪いのかも。

けど、上の方が割れて、運気が印鑑の中に入ってくるから、
下の方の輪郭が、割れてないので運が溜まって逆に良い印鑑です

って、言ってみた。

言葉にとらわれた僕は上書きした。

会社や物事を進める際に、たくさん夢を語る場面がある。
そして、夢泥棒に出会うことがよくある。

介護も知らないのに、おまえには無理だよー
って

確かに、無理かも、、、
って

そのときの魔法の言葉は、

おまえには無理だけど、俺には可能性がある。

そういって、

言葉の呪縛を排除する。

これからも、

たくさん夢泥棒に出会うだろうなー



フェイスブック始めました。
お友達申請お待ちしております。

社会福祉法人 千歳会
理事長 左 敬真

